



東京芸術劇場Presents

Tokyo Metropolitan Theatre Presents Classical Players Tokyo Concert

クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

2014 6/21 [土]

15:00 [開演] 14:00 [ロビー開場]

※有田&仲道によるプレトークあり(14:30~)

東京芸術劇場コンサートホール

有田正広 | 指揮 |

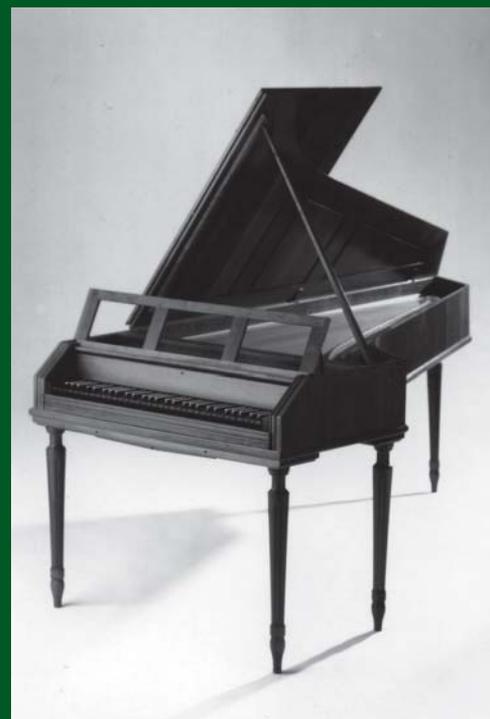
仲道郁代 | フォルテピアノ |

クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用)

※ソロ・コンサートマスター:豊嶋泰嗣



Felix Mendelssohn :
"Ein Sommernachtstraum"
Overture op.21
W.A.Mozart :
Konzert für Klavier
und Orchestra K.488
Franz Schubert :
Sinfonie Nr.7 h moll D.759
"Die Unvollendete"



F.メンデルスゾーン:「夏の夜の夢」序曲 ホ長調 op.21

W.A.モーツァルト:ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488

F.シューベルト:交響曲第7番 ロ短調 D.759 「未完成」

全席指定 S ¥4,000 A ¥3,000 B ¥2,000

チケット発売中

※東京文化会館友の会割引有り(S、A席20%割引)



[チケット取扱い]

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 <http://www.geigeki.jp/>
 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/>
 イープラス <http://eplus.jp/>
 チケットぴあ(24時間・音声自動応答) 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/> [Pコード:223-671]
 ローソンチケット(オペレーター対応) 0570-000-407 <http://l-tike.com/>
 (音声自動応答) 0570-084-003 [Lコード:32166]

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。

※やむを得ぬ理由により曲目等変更の可能性がございますのでご了承ください。

お問合せ:東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

(休館日を除く10:00-19:00)

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

日本の管弦楽演奏史のエポックメイキング!

オリジナル楽器(作曲された当時の楽器)オケの名門、クラシカル・プレイヤーズ東京と仲道郁代のコラボレーション第4弾!!

フォルテピアノ(モーツァルトが生きた時代のピアノ)を使用し、モーツァルトの名作、ピアノ協奏曲第23番に挑む!

後半はロマン派の幕開けを告げるシューベルト不朽の名作「未完成交響曲」を取り上げ、その真価を問う!

— 過去の公演アンケートから —

フォルテピアノを聴いていると「モーツァルトもこの様に弾いていたのかしら」とうっとりする程、古楽器の優しい音色に魅了されました。(70代女性) 初めて聴く古楽器はとても音がシンプルで、逆に新鮮な印象でした。(20代男性) 仲道さんの心のこもった演奏は、心がほぐれていくようでとても心地がよい。(40代男性) ピリオド楽器によるピリオド演奏。今まで幾つか聴いてきたが初めて楽しむことが出来た。(60代男性) 有田さん・仲道さんという天才の協演に感動の嵐でした。(50代女性) 初めてピリオド楽器での演奏を聴いたが、当時の楽器でどのような響きができるのかを知っておくことはその曲の表現・意図を知る上で必要なことだと実感した。ピリオド楽器ならではの演奏は、音がよくブレンドされている上でそれぞれの楽器の個性的な音がしっかりと主張されていてとても魅力的でした。(30代女性) これまでモダン楽器によるピリオド演奏を聴いてきたが、今日本当のピリオド演奏を聴いたのだと実感した。(40代男性)

クラシカル・プレイヤーズ東京 ● 公演予定 2015年2月14(土)

モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K.219 「トルコ風」(ヴァイオリン:豊嶋泰嗣)
ベートーヴェン/交響曲第5番 八短調 op.67 「運命」 他

有田正広◎指揮 Masahiro Arita, Conductor

古楽器と現代楽器の双方を駆使した広範な活動を繰り広げる、日本が世界に誇る国際的な音楽家の一人。1989年「東京バハ・モーツァルト・オーケストラ」を結成し、指揮者としても活動を開始。2006年には、モーツァルトのフルートと管弦楽のための作品を全曲録音するとともに、東京芸術劇場で定期的に演奏会を開催。2009年4月には、ロマン派までをレパートリーとする日本初のオリジナル楽器によるオーケストラ「クラシカル・プレイヤーズ東京」を結成。2010年3月～翌8月にシヨパンのピアノ協奏曲第1番、第2番(ピアノ:仲道郁代)をオリジナル楽器による日本初演というわが国の演奏史上に記憶される演奏会を開催した(同時に世界初となるプレイエルでの録音を行う)。その姿勢は、新たな音楽的創造を常に探求し、古楽器と現代楽器の枠を超えた新たな音楽的創造の領域へとさらに活動の場を広げている。現在、精力的な演奏活動や研究活動とともに、昭和音楽大学、桐朋学園大学で後進の指導にあたっている。



仲道郁代◎フォルテピアノ Ikuyo Nakamichi, Forte piano

4歳からピアノを始める。国内外での受賞を経て1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。温かい音色と叙情性、卓越した音楽性が高く評価され、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活躍している。古典からロマン派まで幅広いレパートリーを持ち、ロリン・マゼール、パーヴォ・ヤルヴィ、小林研一郎などの多くの指揮者、国内外のオーケストラと共演。近年は、シヨパン、モーツァルト、ベートーヴェンなどのリサイタル企画、音楽との幸せな出会いを願う「不思議ボール」など、魅力的な内容とともに豊かな人間性がますます多くのファンを魅了している。テレビ番組、新聞、雑誌、ラジオなどメディアへの出演も多く、音楽の素晴らしさを広く深く伝える姿勢は多くの共感を集めている。

仲道郁代オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>



© Kiyotaka Saito

豊嶋泰嗣◎ソロ・コンサートマスター Yasushi Toyoshima

桐朋学園で江藤俊哉、アンジェラの両氏に師事。86年、大学卒業と同時に新日本フィルのコンサートマスターに就任。その後もサイトウ・キネン・オーケストラ等でコンサートマスターを務めている。ソリストとしては、ベルリン放響、モスクワ・ソロイスト、ロンドン・モーツァルト管等、国内外のオーケストラとの共演。室内楽奏者としては、ハレー・ストリング・クアルテットを結成し、00年までカザルスホールのレジデントクアルテットを務めた。現在アルティ弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。スターン、ヨーヨー・マ、アルグリッチ、ズッカーマン、マイスキー等との共演を重ねている。現在、新日本フィルソロ・コンサートマスター、兵庫県立芸術文化センター管コンサートマスター、九州交響楽団桂冠コンサートマスター。91年村松賞、第1回出光音楽賞、92年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。京都市立芸術大学准教授。1719年製 アントニオ・ストラディバリウスを使用。



© 大塚清治

クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用)◎管弦楽

Classical Players Tokyo, Original Instruments

有田正広音楽監督のもと、日本最初の本格的な古楽器オーケストラ「東京バハ・モーツァルト・オーケストラ」は1989年4月に結成され2009年3月公演をもって20年の歴史の幕を閉じた。その後「東京バハ・モーツァルト・オーケストラ」のメンバーを中心に2009年6月に「クラシカル・プレイヤーズ東京」と改称。バロック、古典派にロマン派のレパートリーを加え、活動を開始。有田による最新の研究成果を基にオリジナル楽器で演奏される公演活動は歴史的資料に基づいた解釈とその演奏という、日本のクラシック音楽界に新しい一条の光を当て、日本の管弦楽演奏史のエポックメイキングとなっている。



託児案内●ご鑑賞の際には芸劇キッズルーム ミューズにてお子様をお預かりいたします。

お申込み・お問合せ:芸劇キッズルーム ミューズ 03-3981-7003(事前予約制)